

行政改革推進計画（令和元年度～令和3年度）の実施状況のまとめ

「成田市行政改革推進計画（令和元年度～令和3年度）」において、「成田市第5次行政改革大綱」に定める2つの基本方針である「市民満足度を重視した行政サービスの向上（質の改革）」と「簡素で効率的・効果的な行政経営（量の改革）」を目標に各種取組を実施してきました。3年間の実施状況については、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業計画を変更したものがあつたため、平成28年度から30年度の計画と比較すると目標達成及び概ね達成した取組項目は減少しましたが、全体の6割を超え、財政効果は目標を達成するなど、一定の成果が見られました。なお、一部の取組項目については、現計画に引き継ぎました。今後も行政改革の推進に取り組んでまいります。

実施状況の詳細は次のとおりです。

① 実施状況

項目の状況	評価	令和3年度末	割合	現計画へ計上
実施・目標達成	◎	58件	45.3%	26件
概ね実施・目標達成	○	19件	14.8%	12件
一部実施・取組中	△	48件	37.5%	32件
方針転換	▲	1件	0.8%	0件
未実施・未達成	×	2件	1.6%	1件
合 計		128件	100%	71件

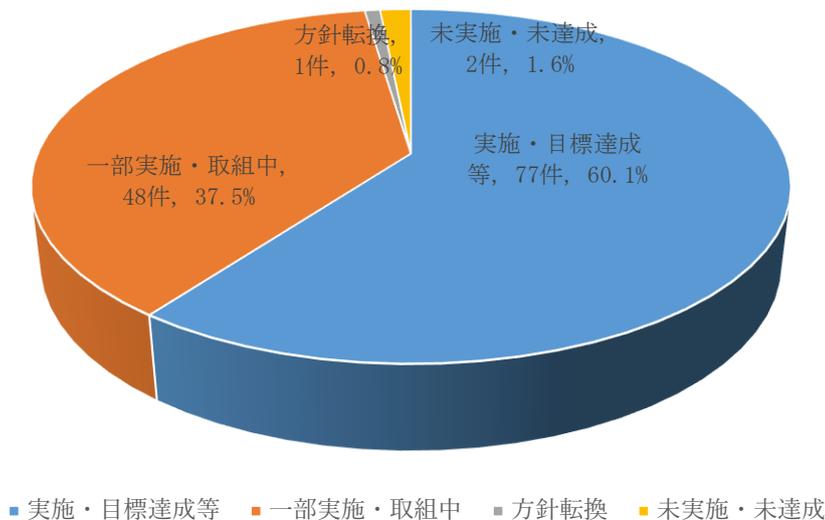
令和4年3月末現在

・事業実施に新型コロナウイルス感染症の影響を受けたもの

主にI-①-1「市政への市民参画機会の拡充」など、ワークショップやイベント、講習会の開催等、対面による活動を計画していた項目が感染症の影響を受けています。

項目の状況	「実施・目標達成」以外の件数	うち感染症の影響を受けたもの	割合
I 質の改革	41	16	39.0%
II 量の改革	29	7	24.1%
合 計	70	23	32.9%

※新型コロナウイルス感染症の影響により事業計画を変更したのもの等については「実施・目標達成」以外に計上。



② 財政効果

「成田市行政改革推進計画（令和元年度～令和3年度）」に計上された128の措置項目のうち、財政的な効果目標が設定可能な項目について、計画期間中の効果目標額を2,943,314千円と設定していますが、令和元年度～令和3年度の3年間の財政的な効果額は次のとおりです。

（※）『Ⅱ-①-15 敬老祝金の見直し』、『Ⅱ-②-11 補助金の適正化』については、財政的な効果目標は計上せず、見直し後の財政効果額について公表することとしていたため、達成率の算定・グラフからは除外しています。

（単位：千円）

措置項目（主な内容）	目標額	財政的な効果額	達成率
事務事業の見直し（ふるさと納税の推進、償却資産の適正課税の推進など）	1,329,001	1,363,664 (1,390,504)※1	102.6%
補助金の見直し（補助金の適正化）		(18,674)※2	
自主財源の確保（市有財産の処分・貸付け、株式会社成田香取エネルギーの活用による電力コストの削減など）	303,421	425,625	140.3%
基金の有効活用（空港周辺対策事業基金、高齢者社会対策基金など）	635,129	576,658	90.8%
定員管理及び時間外勤務等の縮減（多様な人材の確保など）	675,763	847,086	125.4%
合計	2,943,314	3,213,033 (3,258,547)※3	109.2%

※1 敬老祝金の見直しは財政的な効果目標を設定していないため（ ）内の金額に含めた。

※2 補助金の見直しは財政的な効果目標を設定していないため（ ）とした。

※3 （ ）内は敬老祝金の見直し及び補助金の見直しを含んだ全体の効果額。

(単位：千円)

